病後児保育室

テディベアだより

（第69号）2026年8月発行

社会福祉法人　愛の泉　愛泉乳児園

テディベアハウス

（病児保育事業：病後児対応型）

〒347-8510　埼玉県加須市土手2-15-57

TEL：0480-62-1222

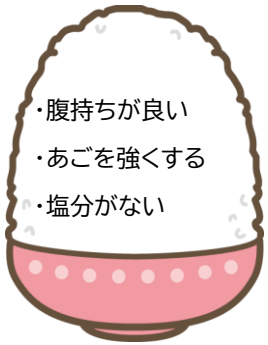
暑い日が続いています。こどもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気を配りましょう。暑いと体力が落ちて、食欲がわかないことや、つい冷たい物ばかりを食べてしまうことがあります。暑さに負けない体づくりをするためにもしっかりとご飯を食べられる工夫をしましょう！

＝・＝

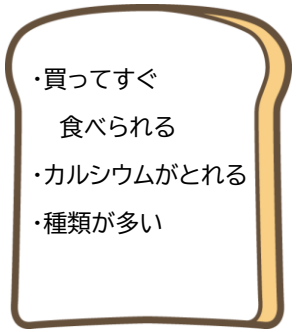
朝ご飯には、こんな役割があります！

・体にエネルギーと栄養を与えてくれる
・脳も活発にしてくれる
・体温を挙げて体を目覚めさせる
・生活リズムをつくる

ご飯の良いところ



パンの良いところ



虫刺され・植物かぶれ

虫刺されも、植物かぶれも、まず絶対にかかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することや、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまうので、十分に気をつけましょう。

○蚊

こどもの場合、蚊に刺される免疫が少ないため、水ぶくれができることがあります。刺されたら、患部を洗い、30分以内に炎症をとる薬を塗ると症状が軽くて済みます。

○ダニ

市販の虫刺され用の薬で効果があります。人によってはアレルギーなどで、全身に発疹が広がったり、喘息や皮膚炎を引き起こす場合もあるので、その場合は受診しましょう。

○毛虫

毛虫の毛が皮膚に刺さって炎症を起こした場合は、患部にセロハンテープなどを貼って剥がすと毛が取れるため、軽症で済むことがあります。また、直接触らなくても毛が皮膚に触れるだけ強い皮膚炎を起こすこともあります。

○ムカデ・ハチ

刺されるとすぐに強い痛みが出ます。腫れが強い場合は受診しましょう。以前にも同じ虫に刺されたことがあり、気分が悪い、息苦しい等の場合には、アナフィラキシーショックの可能性があるので、早急に受診しましょう。

◎植物かぶれ

植物の中には発疹や水ほうなどを起こすものもあります。症状が出た場合、患部を洗って広がらないように衣服を着替えたり、患部を流水で流し、かゆみ止めを塗ったりしましょう。水ほうは清潔なガーゼで覆い、患部が広がったり、かゆみが治まらない場合は受診しましょう。